

ひろきた センターだより



広島県立広島北特別支援学校
地域支援部 地域相談支援センター

令和2年5月発行

令和2年度 No. 3

日が照ったり雨が降ったりしながら、入梅へと向かう頃となりました。みなさまには、感染症の状況等を踏まえながら、段階的な教育活動の開始に向けた日々をお過ごしのことと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年6月初旬に実施している学校見学会を、今年度、9月に予定していることは、ホームページでお知らせした通りです。令和3年度に本校への入学を希望される場合は、12月23日までに入学のための教育相談を受けていただく必要がありますが、今年度は、9月の学校見学会まで、本校の様子等を詳しくお知らせする機会がありません。

そこで、学校見学会でお配りする資料や、見ていただく資料(動画)を、ホームページに掲載致します。[広島県立広島北特別支援学校](#)(リンクを張っています。入学案内>入学案内・教育相談からお入りください。)

次に、これらの資料の概略をまとめております。本校に関心をお持ちのみなさまには、今号とともに、ぜひ、ホームページを御覧ください。そして、進路相談等の参考にしていただけたら、嬉しいです。なお、不明点等ありましたら、お電話ください。

学校案内

① 授業

- ・知的障害特別支援学校では、各教科の授業だけでなく、各教科や道徳などの授業を「合わせた指導」を行っています。
- ・合わせた指導として、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習を実施しています。
- ・小学部：日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習
中学部・高等部：日常生活の指導、生活単元学習、作業学習



授業については、ホームページの「冊子資料」8頁コラム欄を御覧ください。



②通学

- ・小学部・中学部の児童生徒は全員スクールバスに乗ることができます。
- ・スクールバスは、9時に学校に到着し、15時に学校を出発します。
- ・高等部普通科職業コースと高等部普通科で療育手帳「B」交付の生徒は、公共交通機関を使っての自力通学です。

③給食

- ・現在、小学部は食堂で、中学部・高等部は教室で配膳・食事をしています。
- ・刻み食等の食形態や、アレルギー対応食等については、個別に御相談ください。





④標準服・体操服

- ・紺・黒・クレ系の色のブレザー，スラックス，スカートなどの組み合わせであれば，自由です。着やすいものをお考えください。
- ・高等部では本校の体操服を推奨しています。中学の部も希望があれば購入できます。
- ・どちらも，着用は自由です。

⑤就学区域

- 安芸高田市
広島市安佐北区
（白木，高陽地区を除く）
広島市安佐南区（祇園地区を除く）
山県郡安芸太田町
山県郡北広島町
*高等部普通科職業コースは，白木，高陽，祇園地区も就学区域に含みます。

⑥入学までの流れ

学校見学・担任等との進路相談
（今年度の学校見学会は，9月の予定です。ホームページの学校案内を御活用ください。）

↓
入学のための教育相談

↓
教育委員会による就学決定（小・中学部）
高等部入学者選抜（高等部）

↓
新入生説明会（令和3年3月25日）



⑦入学のための教育相談

- ・期間 令和2年12月23日まで
- ・時間 16時～ 30分程度
- ・対象 入学希望者本人，保護者
- ・申込み 電話等での予約，日程調整
- ・持参する物 交付を受けているすべての障害者手帳
- ・内容 健康面・生活面・学習面での配慮事項などをお聞きします



⑧小学部

- ・遊びの指導では，紙や粘土や絵の具などを触ったりちぎったりする遊び，遊具を使って体を動かす遊び，集団で活動する劇遊びなどを行っています。
- ・近隣の小学校との学校間交流を，学年ごとに行っています。

⑨中学部

- ・作業学習が始まります。内容は，清掃や，紙すき・折り紙・箸袋等の製品づくりで，学年ごとに計画・実施します。
- ・校内実習では，校内で，一定時間働く経験をします。

⑩高等部

- ・企業等への一般就労を目指す「普通科（職業コース）と，一般就労または福祉的就労を目指す「普通科（単一障害学級，重複障害学級，訪問学級）」とがあります。
- ・作業学習の時間が増え，「働く」ことを意識した学習を行います。
- ・普通科では，教科学習の一部を実態に応じたグループに分かれて学習します。
- ・希望の進路に応じて，就業体験・職場実習を行います。

<連絡先> 広島県立広島北特別支援学校内 地域相談支援センター7

〒731-0212 広島県広島市安佐北区三入東1丁目25-1

電話：(082) 818-1201 FAX：(082) 818-1203

<http://www.hiroshimakita-sh.hiroshima-c.ed.jp/>

担当 教育相談主任（妹尾千津 清田朋子）



臨時休業が長期間におよび、経験したことのない状況（ストレスのかかる状況）が続いています。程よいストレスは良い刺激となることもあります。強すぎたり長期間に渡ったりすると、心身に様々な変化が起こります。幼児児童生徒にどのような変化が起きやすいか、どのような支援が必要かをまとめました。

ストレスから生じやすい反応

① 身体面

不眠 頭痛
食欲不振 動悸
疲れやすさ
排泄（夜尿、下痢、便秘）



② 心理面

イライラしやすい、小さなことが気になる、やる気が出ない、注意・集中力の低下



③ 行動面

大人から離れにくい、すぐに泣いたり怒ったりする、ハイテンションになる、わがままになる、遊びの中で起きていることを再現する



これらのことは、自分を守るために、誰にでも起こることです。発達障害などがあると、大きな変化に反応しきれず、一見落ち着いて見えることもあるそうです。少し時間が経ってから、現れてくるかもしれません。長い目で、子供たちの様子を見守りたいものです。

こんな支援を！

① 子どもが感じていることを丁寧に聴いたり、または、代わりに言語化したりする。

「〇〇がしたいんだね」「〇〇っていう気持ちなんだね」等の言葉がけで気持ちを受け止めましょう。アイコンタクトを取ってうなずくだけでもOKです。



② 正しい情報を分かりやすく伝え、自分で対処できる方法を教える。

ウイルスのこと、世の中の状況、対処できる方法（手洗い、マスク、困ったときの相談先等）を具体的に視覚的に知らせましょう。

参考になるウェブサイトを「ひろきたセンターだより NO2」でも紹介しています。



③不安やイライラへ対処する方法を一緒に考える。

国立育成医療研究センター「新型コロナウイルスに負けないために リラクゼーション編」
(<https://www.ncchd.go.jp/news/2020/6faff78c4550746f93e6425d8b4d572773f4bb77.pdf>)

には、ストレスへの対処法が子供にも分かりやすく紹介されています。みんなのストレス解消法を出し合ってレポーターを増やすのもいいですね。



④注意力・集中力に応じた学習課題を設定する。

学習に向かうエネルギーが少なくなっても、「やってみようかな」と思えるような課題を通常の課題に織り交ぜて、または導入として設定してみましょう。



大人もストレスマネジメント

大人も同じような反応が起こりますが、非日常の中で対応に追われ、「身体面」「心理面」の変化に気付くのが遅れてしまっていないでしょうか。

- ・ストレスを感じるのは自然な反応、という心構えをもつ
- ・自身のストレスサインに気付く
- ・孤立を避け、ストレスを蓄積させないよう生活の工夫をすることが大切と言われています。支えあって乗り切りましょう。



《参考》

★広島県教育委員会 参考資料「自主登校を実施するにあたって児童生徒の心のケアについて」

★日本心理臨床学会 「新型コロナウイルス対応に関する情報」 https://www.ajcp.info/heart311/?page_id=4248

★国立育成医療研究センター 「新型コロナウイルスと子どものストレスについて」

<https://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>

★東京大学相談支援研究開発センター

<http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/scc/scc-info/1189/>

★公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン「感染症対策下における子どもの安心・安全を高めるために」

<https://www.savechildren.or.jp/sp/news/index.php?d=3170>

<連絡先> 広島県立広島北特別支援学校内 地域相談支援センター

〒731-0212 広島県広島市安佐北区三入東1丁目 25-1

電話：(082) 818-1201 FAX：(082) 818-1203

<http://www.hiroshimakita-sh.hiroshima-c.ed.jp/>

担当 教育相談主任（妹尾千津 清田朋子）